

## ■ 各事務所における環境目標と実績評価

### (1) 工場の2017年度環境目標の達成状況

ガスタービン工場では環境目標を達成しました。太田工場と新内工場、鋳造工場、ニコ精密機器で原単位当たりのエネルギーが増加し、全体としても対前年比で5%増加しました。太田工場、新内工場及び鋳造工場で増加した理由は、生産出力の減少に比べエネルギー消費量の減少が少なかったためです。また、ニコ精密機器で増加した理由は、生産量の落ち込みによる稼働時間の減少と、新工場の空調に係る固定エネルギーが大きかったためです。全体として生産量の落ち込みが大きく影響しました。

凡例：  目標達成  目標未達成

環境目標 = 前年度に対して原単位当たりエネルギー使用量の1%削減

工場部門	太田工場	新内工場	ガスタービン工場	鋳造工場	ニコ精密機器	全体
達成の評価						
2016年度	0.658 kl/百kW	1.872 kl/百kW	1.618 kl/百kW	0.612 kl/ton	5.263 kl/千h	対前年比 115%
2017年度	0.691 kl/百kW	2.626 kl/百kW	0.989 kl/百kW	0.665 kl/ton	6.216 kl/千h	対前年比 105%
削減率	5% 増加	40% 増加	39% 削減	9% 増加	18% 増加	5% 増加

エネルギー使用量は原油に換算した使用量(kl)で表しています。  
工場部門の原単位当たりのエネルギーは、太田工場、新内工場、ガスタービン工場では生産出力百kW当たりのエネルギー、鋳造工場では生産重量ton当たりのエネルギー、ニコ精密機器では機械稼働時間千h当たりのエネルギーで表しています。  
全体の対前年度比は、エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度の合計値で表しています。(省エネ法 定期報告書 様式第9(第17条関係) 特定-第3表 備考3による)

### (2) 事務所部門の2017年度環境目標の達成状況

本社・支店では、目標達成を目指して電力管理図を作成し、室内温度の適正化等の努力をしています。2017年度は大阪支店と九州支店で電気使用量が増加しました。全体としては環境目標を達成しました。

環境目標 = 電気使用量の前年度1%削減

事務所部門	本社	北海道	東北	名古屋	大阪	九州	全体
達成の評価							
2016年度 千kWh	612.4	19.2	25.0	37.3	78.9	63.3	836.2
2017年度 千kWh	591.4	17.7	23.5	36.3	81.1	70.3	820.3
削減率	3% 削減	8% 削減	6% 削減	3% 削減	3% 増加	11% 増加	2% 削減

新潟支店は新潟内燃機工場の集計に含まれるため除外しています。